

感染拡大を防ぐための本市の取り組み

1. マスクを約70万枚確保。子どもや高齢者などに配布しました

市は、市内の小中学生や高齢者の他、福祉・介護施設や放課後児童クラブの職員などに、使い捨てマスクを配布しました。これは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うマスク不足を受け、入手できた物を活用するもの。市内の小中学生や高齢者、妊婦、学校や施設の職員など、計約17万人に配布しました。市はこれからも、マスクの確保に努めていきます。

問い合わせは、保健医療総務課（☎381-6111）へ。



▲マスクを受け取る福祉・介護施設などの職員



高崎アリーナで行われたマスクの仕分け作業▼

▶マスクを受け取った人に聞きました



星野雅代さん・健太朗さん（新町）

今はマスクを買うのが難しいので、本当にありがたいです。安心の一材料になりますね。

在庫が切迫し、職員が節約しながら使っている中、貴重なマスクをもらえて大変助かります。



社会福祉法人宏志会 施設長 高田 和夫さん(下佐野町)

2. 消毒用エタノールを配布しています



市は、現在入手が困難となっている手指消毒用エタノールを、これまで市内のホテルや医療機関、学校、保育所、福祉施設、スーパーマーケットなどに配布しました。

現在、飲食業者を対象に、手指消毒用エタノールを配布しています。希望する業者は、市総合保健センター4階の高崎食品衛生協会窓口にお越しください。1事業者につき500mlを配布します。今後も消毒用エタノールの確保に努めていきます。

問い合わせは、生活衛生課（☎381-6116）へ。

3. 臨時休校中も学校を開放。心配ごととは相談してください

市内の小中学校と特別支援学校は、臨時休校しています。臨時休校期間中も、子どもたちの居場所として教室、図書室、体育館などを開放。開放時間は、月～金曜日の午前8時頃～午後4時頃で、教職員が対応します。利用を希望する場合は、事前に学校に連絡してください。また、子どもの家での過ごし方や学習など心配ごとがある人は、遠慮なく学校に相談してください。

放課後児童クラブ、保育所・認定こども園・幼稚園は、やむを得ない場合を除き、通所・登園の自粛をお願いします。



換気や人との距離に十分に配慮

予防法などを知りたい人はこちら

窓口	受付日時	電話番号
市の電話相談窓口 (健康課)	月～金曜日 午前8時30分～午後5時15分	☎381-6113、-6114
厚生労働省の 電話相談窓口	午前9時～午後9時	☎0120-56-5653

感染症対策の基本

❗正しい手洗いをこまめに



石けんで指先や指の間、手首まで、15～30秒かけてしっかり洗う



手の洗い方を動画で見られます

❗咳エチケットを徹底する



マスクは裏表や上下に気を付けて、隙間ができないように着用。マスクが無いときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を覆ってください

新型コロナウイルス感染症に関する Q&A

Q. どのように感染するの？

▶▶ 一般的に、感染者のくしゃみなどと一緒に出たウイルスを吸い込んで感染する飛沫感染か、ウイルスが付いた物に触れた手で口や鼻を触って感染する接触感染で感染します。そのため予防には、こまめな手洗いと咳エチケットが効果的です

Q. 外出自粛ってどういうこと？

▶▶ 不要不急の外出を控え、自宅で過ごすことです。医療機関への通院、生活必需品の買い物、通勤以外は、できるだけ外出を控えてください

Q. 濃厚接触者ってどんな人？

▶▶ 感染者の発症の2日前から、おおむね1m以内でマスクをせずに15分以上会話した人などです。市保健所の職員が感染者から聞き取り、濃厚接触者かどうかを判断します

Q. 外で運動してもいいの？

▶▶ 散歩やジョギングなど、屋外の安全な場所で人との接触を避けて行う運動は推奨されています。運動不足やストレス解消のために、できるだけ体を動かしましょう